

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	男 70代	前立腺肥大症 (B型肝炎硬変, 高血圧症, 過 敏性腸症候 群, 逆流性食 道炎)	7.5g 48日間	間質性肺炎	
				投与開始日	前立腺肥大症に対し本剤投与開始。
				投与約1ヵ月後	感冒様症状, 労作時呼吸苦を自覚。
				投与47日目	症状軽いも, かかりつけ医の定期受診で安静時のSpO ₂ 80%と低下, 両肺にCTでスリガラス影を認め入院。
				投与48日目 (投与中止日)	当院転院, 本剤投与中止。 抗核抗体(陰性), 抗SS-A/Ro検査(陰性), 抗SS-B/La検査(陰性)
				中止1日後	呼吸状態の改善がないため, ステロイド治療開始。ステロイド投与前にDLST提出。以降, CRP低下, 必要酸素量の低下を認め, 画像上もスリガラス影改善傾向のためステロイド減量。 DLST: 竜胆瀉肝湯(陽性)
中止13日後	CTで間質影消退傾向, 酸素吸入より離脱。				
臨床症状					
	投与開始日	投与47日目	投与48日目 (投与中止日)	中止3日後	
発熱	なし	なし	なし	なし	
痰	なし	なし	なし	なし	
咳	なし	軽度	軽度	なし	
息切れ(HJ分類)	I	II	V	IV	
臨床検査値					
	投与約1ヵ月前	投与48日目 (投与中止日)	中止2日後	中止5日後	中止12日後
LDH (IU/L)	157	319	262	216	154
CRP (mg/dL)	0.17	5.61	6.34	0.53	0.53
KL-6 (U/mL)	—	847	783	859	787
併用薬: オオウメガサソウエキス・ハコヤナギエキス・セイヨウオキナグサエキス・スギナエキス・精製小麦胚芽油配合剤, ウルソデオキシコール酸, L-イソロイシン・L-ロイシン・L-バリン配合剤, 酪酸菌(宮入菌)末, ランソプラゾール, テルミサルタン, スピロノラクトン					